

スクラム組んで未来を共創

佐藤 ひさよし 後援会 News



発行：佐藤 ひさよし 後援会・大泉町民懇話会 自宅：仙石2丁目5-21
後援会事務所：坂田1-1-1 (パナソニック構内) TEL：0276-61-9926
～お気軽にご意見・ご要望をお寄せください！～ e-mail:h.s.chara@gmail.com



新庁舎が供用を開始しました！

5月7日(木)より、新庁舎が供用を開始しました。
旧庁舎は、建設から62年が経過し、老朽化が進み、耐震性の不足も心配されていました。
新庁舎建設にあたっては、令和4年から検討を重ねてきました。
議会としても特別委員会を設置し議論を重ね、住民の皆さんに必要な庁舎になるように様々な提言をしてきました。

特に本会議場については、これまで、20%の稼働率しかなく、非効率的であることから、床はフラット、机・椅子は可動式とし、議会が開会していない時は、住民の皆さんに利用してもらえるような仕様になりましたので、必要に応じてご利用いただければと思います。

3月定例会ではこんなことが決まりました



令和8年度予算について調査しました！

3月定例会 会期：令和8年3月3日～19日

予算関係・・・13件 条例関係・・・13件
人事関係・・・4件 その他・・・1件

合計件

この中から1つを
Pick up

■議案第24号

「令和8年度大泉町
一般会計予算について」

令和8年度の一般会計予算は、対前年度比▲71億9,900万円(▲約30%)の、165億7000万円となりました。

税収の根幹である、町税は対前年度比+7,696万円の見込みとなります。

うち、

《個人町民税》
23億6,041万円
(前年比+2億1,270万円)

《法人町民税》
5億154万円
(前年比▲3億9,285万円)

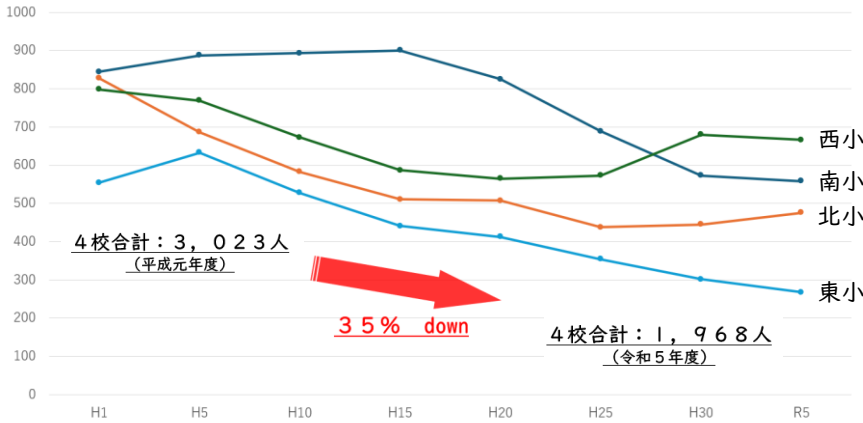
《固定資産税》
34億6,861万円
(前年比+2億4,737万円)

個人町民税は賃上げの影響により増収、法人町民税は、米国の追加関税を受け、減収の見込みとなります。

令和8年度のトピックスとして

- ◆いずみの杜プレイフロア拡充
- ◆地域公共交通計画策定
- ◆新庁舎の施設管理委託
- ◆町営住宅空家解体
- ◆中学校の普通教室空調更新などが進められます。

これまで提言してきた施策が、少しづつ、実現してきています。これからも、皆さんの声を反映し、政策提言をしていきます。



町内4小学校の児童数は著しい減少傾向にあります

本町の児童数は年々、減少傾向にあります。

少子化に合わせた
最適な環境整備を

左図は、平成元年度から令和5年度の町内4小学校の児童数の推移となり、35年間で35%ほど減少しています。
少子化は、様々な要因があり、これからも減少傾向にあるのは言うまでもありません。
この問題は、短期で解決することは極めて難しい状況にあるこ

とから、その状況を分析し、必要な施策をスピード感をもって進めていく必要があります。

児童の減少フェーズが当面、続く中で、より効率的かつ最適な学びの提供が必要となりますので、教育部局に対しては、必要な施策の提言をしていきます。

小中学校再編の
検討を始めるべき

近隣自治体においても小中一貫校や学区の見直しが進められています。

本町も現状の児童数を考慮すると、空き教室もあり、再編の検討は始める必要があります。
通学路の安全性の確保、地域との関わり方、各学校の施設状況など総合的な視点での検討を進めたいと思います。

義務教育学校の効果と
必要性は？

文部科学省の発表によると義務教育学校は全国で約240校、約8万人が在学しています。

義務教育学校には、メリットもデメリットもそれぞれありますが、児童数の減少や小中学校の効率化、最適化も含めて、本町の学びにとって、効果があり必要なかを検証し、子どもたちへの最適な学びの環境を提供していきます。



南中学校での出前授業！

南中学校3年生に
出前授業を行いました

南中学校から依頼があり、広報広聴常任委員会で、出前授業を行いました。

当日は、議会の役割や仕事の流れなどをお話しさせてもらい、質問コーナーでは、中学生らしい質問も多く、私も様々な「気づき」があり、学ばせてもらいました。

生徒の皆さんからは、「政治が身近に感じられた」、「議会はもっと堅いと思ってた」などの声もいただきました。

他の中学校でも開催していきたいと思えますし、若い世代がもっと政治に関心が持てるように取り組めます。

子育て世帯の負担軽減
施策を提言します

6月定例会の一般質問では、保育園や幼稚園の給食費(保育料・副食費など)の負担軽減を提言する予定です。

詳細はこれから詰めていきますが、0歳〜2歳は、給食費が保育料に含まれているため、保育料を月2,000円減額し、3歳〜5歳については、副食費を月2,000円減額する事を考えています。

また、財政状況に応じて、上乗せする仕組みも併せて提言したいと思っています。

子育て世帯を含む働く世代の負担軽減から好循環を生み出し、全世代に好影響を与えていきます。

一般質問の様子が動画で閲覧できます！



佐藤久芳 議員

